

川端正和氏文書(2)概要

- 1: 文書群番号 095108
- 2: 文書群名 川端正和氏文書(2)
- 3: 出所 川端正和家
- 4: 家業・役職等 近世：酒造業
近代：水堂村戸長
- 5: 地名 摂津国川辺郡水堂村／兵庫県川辺郡水堂村／川辺郡立花村水堂／
尼崎市水堂／尼崎市西立花町
- 6: 行政区分 1. 池田重利領／尼崎藩領／旗本青山氏（幸通系）知行所／兵庫県第
10区／三反田組戸長役場／立花村／尼崎市
2. 幕府領・大坂城代領／武蔵国忍藩阿部氏（忠吉系）領／幕府領／
尼崎藩領／（近代以降は「1」に同じ）
- 7: 歴史 川端家は代々、水堂村のうち少路村に居住し、近世以来酒造業
を営んでいた。特に川端又兵衛・喜一郎父子の頃（近世後期～近
代）が最も盛んであったようで、近世には摂泉十二郷のうちの北
在組に属し、おもに江戸に出荷するための酒をつくっていた。ま
たそれ以外にも、備中足守藩で酒造りをしていたという史料もあ
る。近代の酒造事業の詳細は不明であるが、少なくとも明治期ま
では東京向けを含め酒造業を続けていたようである。
近代に入っては、水堂村戸長、水堂区長、立花村村会議員、水
堂少路町内会長等、橘土地区画整理組合副長等を務めていた。
- 8: 伝来 平成7年(1995)2月に史料館が阪神・淡路大震災被害史料の救済
活動をしている旨の案内を郵送したところ、同年10月2日に連絡を
いただき、訪問・調査の結果、同日借用。平成12年7月、川端氏よ
り寄託。
- 9: 史料入手先 川端章氏（原蔵者子息）
- 10: 点数 2365点（目録件数1611件）
- 11: 年代 宝永6年(1709)～昭和39年(1964)
- 12: 構造と内容 本文書群は、川端正和氏文書と本来一体をなすもので、①近
世・近代の酒造関係文書、②近世・近代の水堂村関係文書、③川
端家の私的文書からなる。①は樽菰図案、酒樽切手の発行をめぐ
る訴状、廻船加入証文など。②は施行金受取証、町村税・村費領
収書、橘土地区画整理組合書類綴りなどで、近代の史料が多い。
③は奉公人請状、銀子借用証文、土地・農業関係史料、書状など
で、金融関係の史料が多数を占める。
- 13: 関連史料 川端正和氏文書(1)
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 坂江 愛